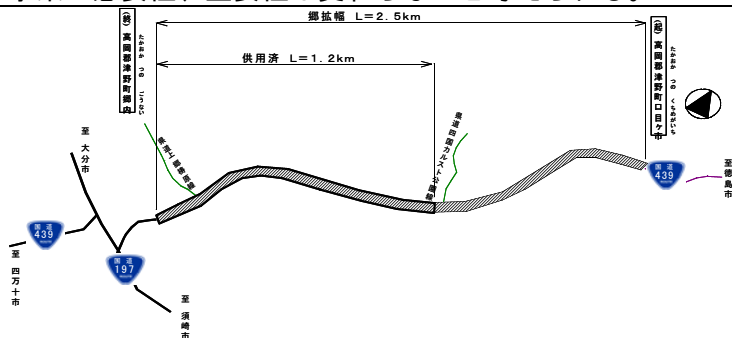


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村昌司

事業名：一般国道439号 郷拡幅 起終点：自：高知県高岡郡津野町目ヶ市 至：高知県高岡郡津野町郷内	事業区分：一般国道	事業主体：高知県 延長：2.5 km					
事業概要：一般国道439号は、徳島県徳島市から高知県四万十市に至る延長約355 kmの幹線道路である。郷拡幅は、高岡郡津野町の幅員狭小及び線形不良の解消を目的とした延長約2.5 kmの事業である。							
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H9年度用地着手	H9年度工事着手				
全体事業費	61億円	事業進捗率	58%	供用済延長	1.2 km		
計画交通量	4,080台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.3	総費用 (残事業)/ (事業全体)	26 / 64億円	総便益 (残事業)/ (事業全体)	39 / 84億円	基準年 平成18年
	(残事業)	1.5	事業費 維持管理費	24 / 2億円	走行時間短縮便益 走行費用減少便益 交通事故減少便益	38 / 0 / 1億円	
感度分析の結果							
事業の効果等 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。 主要な観光地へのアクセス向上が期待される。(他6項目に該当)							
関係する地方公共団体等の意見 地域の生活を支え、高知県山間部の住民にとって「命の道」となる国道439号の整備促進を求め、9市町で構成された高知県国道439号整備促進期成同盟会より要望を受けている。(平成18年11月8日)							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 自然環境への関心の高まりにより四国カルスト県立自然公園への都市部からの観光客が増えており、当該区間の道路利用者の安全対策が急務となっている。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに1.2 kmを供用している。残延長1.3 kmのうち0.5 kmはH19年度末供用予定であり、残り0.8 kmについても早期供用に向け整備を図っていく。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地交渉の難航により進捗が遅れたが、現時点では用地買収は9割近く完了した。今後は早期供用を目標に事業を進捗する。							
施設の構造や工法の変更等 切土法面にポット苗を植生することで、周辺の豊かな自然環境への負荷を軽減すると共に、自然景観の復元を図っている。							
対応方針：事業継続							
対応方針決定の理由 以上の状況を考慮すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。							
事業概要図							

凡 例	
	再評価箇所
	うち供用中



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。